

和心ブラザーズ

津軽三味線と和太鼓の迫力満点コンサート

しんた (和太鼓)

安平町出身。10才より地元のと太鼓グループで和太鼓を始め、18才の時から「鼓童」に3年間在籍。2006年よりソロ活動を始める。太鼓と踊りの関係に自分のスタイルを見だし、海外のダンスミュージックをアレンジした新しいスタイルは、国内はもとより海外11カ国で演奏し、大成功を収める。

「第1回・野口英世アフリカ賞」の授賞式及び記念晩餐会(天皇皇后両陛下御出席)、「ヨコハマ開港150周年祝祭コンサート」など世界規模のイベントで数多く演奏するほか、「ももいろクローバーZ」桃神祭」や ARASHI LIVE TOUR 2015 Japonism の公演にも参加。

テレビ、ラジオ オ新聞、CM出演など メデ イア後取り上げられるなど活動は多岐にわたる。



菅野優斗 (津軽三味線)

旭川市出身。物心がついた11歳より、祖父である日本民謡三絃菅野孝山流家元菅野孝山と父である二代目菅野孝山から本格的に津軽三味線の基礎を学び、親子三代演奏で国内外と舞台活動を繰り広げる中、独自の奏法・音色を身につける。

抜群の演奏力を武器に全国大会にも出場。ジュニアの部優勝、A級男性の部優勝と素晴らしい成績を残す。2012年津軽三味線グランプリ大賞にて「初代グランプリ」を受賞。2016年、2017年には全国大会でも「優勝」を獲得。

若い世代にもっと日本伝統芸能に興味を持って欲しいという強い願いを込め、古典音楽を守りつつも、多彩な楽器・アーティストと共演し、津軽三味線の可能性を日々広げる若き津軽三味線奏者である。

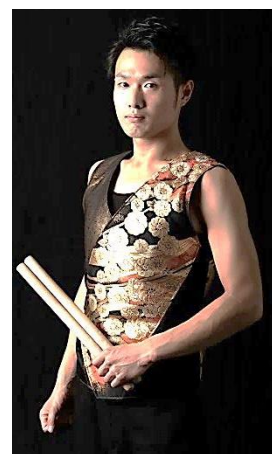


田村幸崇 (和太鼓)

安平町出身。北海道を代表するソロ和太鼓奏者。2013年からプロ活動を始め、2017年には、自身が代表を務める二人組ユニット「北海道太鼓ユニット 夷-abisan」を結成。

北海道の初夏の風物詩YOSAKOIソーラン祭りや、北海道を代表するジャズフェス「サッポロシティジャズ」でのオーピング演奏のほか、日本を代表とするアイドルグループ「嵐」の「ARASHI LIVE TOUR 2015 Japonism 札幌ドーム公演」に和楽器隊として参加し5万人の前で和太鼓を披露している。

伝統楽器の素晴らしさを伝えたい想いで教育現場での演奏や指導も行うなど、これからの和太鼓の可能性を広げるために多方面にわたり活動をおこなっている。



第100回 音楽鑑賞友の会コンサート

平成30年7月21日(土)

開場 17:30 開演 18:00

問合わせ先 共和町音楽鑑賞友の会事務局

生涯学習センター大ホール

共和町南幌似37番地22

当日券 1,000円 会員&中学生以下 無料

TEL 73-2011 (内線514)